

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	瀬戸市のだぞみ学園		
○保護者評価実施期間	2024年11月21日		～ 2024年12月3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2024年12月24日		～ 2025年1月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月4日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の職員が支援にあたっており、互いに連携することで、支援内容の充実が図れる。	定期的に、ST、OT、PTに療育に参加してもらい、職員への助言をもらっている。 医療的ケア児の受入れを行っていることで、看護職員主導の研修や緊急時の訓練を行っている。	地域の医療機関との連携と共に、緊急時の訓練を定期的に行い、職員の資質の向上を図る。
2	園児のアセスメントを丁寧に行い、園児の特性や状況に合わせた個別支援支援計画を作成している。	親子通園時に保護者と情報共有をしたり、職員間で事例検討をするなどして、園児の把握に努めている。	より細かく園児や保護者のニーズを聞き取り、個別支援計画に反映させる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	感染症の影響で、交流していた隣接保育園等との交流回数が少なくなってしまった。	保育園等との打合せの機会を作り、交流の目的を伝えたり、交流方法を提案していく。 のぞみ展の開催を広く周知する。(ホームページや広報せとの活用)
2	施設が古い。	施設が古い。	令和7年度から順次改修工事で適宜修繕を行い、園児が過ごしやすい環境に整える。
3	きょうだい支援が少ない。	スペース、人力的要因から直接的なきょうだい支援のイベント等を行っていなかった。また、感染症の影響から、出来る限り参加人数を抑えていた。	学園行事の中で、きょうだい参加する取り組みを予定している。